九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[0014]九州大学生体防御医学研究所年報 : 1999年

https://doi.org/10.15017/6245

出版情報：九州大学生体防御医学研究所年報. 14, 2000-08. 九州大学生体防御医学研究所
バージョン：
権利関係：

附属病院検査部
Diagnostic Laboratory

人事については，１９９９年７月部長に吉河康二が昇任し，１０月各技師の担当部署の変更（ローテーション）を行った．この年度の特別の活動は，西暦 2000 年問題（Y2K）への対応であった．約２００点の電子機器のチェック，検査部のコンピュータシステムの OS の変更，いろいろの状況を想定した訓練（計５回），試薬等の在庫の見直し，危機管理計画の作成（計３回）などを行った．幸いにも，予想外に少ない被害ですみ，今後の災害等に対する自信を得た．

研究分野では，細胞診検体での PCR-in situ hybridization のための基礎的実験を森大輔を中心として始めた．その他，別府地区の各部門の研究を援助するため，特に病理検査室は貢献した．

業績目録

原著論文

1. Suzuki Y., Oda, K., Yoshikawa, Y., Maeda, T. and Suzuki, T. 1999.
   A novel therapeutic trial of hemogentisic aciduria in a murine model of alkaptonuria.
   J. Hum. Genet. 44: 79-84.
2. Kawahata, K., Misaki, Y., Komagata, Y., Setoguchi, K., Tsunekawa, S., Yoshikawa, Y., Miyazaki, J. and Yamamoto, K. 1999.
   Altered expression level of a systemic nuclear autoantigen determines the fate of immune response to self.
   J. Immunol. 162: 6482-91.
3. Kato, K., Horiuchi, S., Terao, Y., Ueoka, Y., Nishida, J., Mori, D., Yoshikawa, Y. and Wake, N. 1999.
   Relevance of ER to the development of endometrial hyperplasia and adenocarcinoma.
   Breast Cancer 6, 312-319.
4. Kato, H., Zhou, Y., Asanoma, K., Kondo, H., Yoshikawa, Y., Watanabe, K., Matsuda, T. Wake, N. and Barrett, J.C. 2000
   Suppressed tumorigenicity of human endometrial cancer cells by the restored expression of the DCC gene.

Br. J. Cancer 82, 459-466.
5. 吉河康二．２０００．
クリプトスポリジウム症の単発例 .
病院病理１７（１）：５.

学会発表

1. 片岡明美，定永倫明，森正樹，吉河康二，他 .(1999/4/17).
乳癌の微少転移検出のための工夫と臨床応用.
第１４回大分乳癌のつどい，大分市.
2. 寺尾泰久，西田純一，上岡陽亮，堀内新司，加藤聖子，和気徳夫，吉河康二. (1999/7/4).
パクリタキセル、カルボプラチン併用療法（TJ 療法）が奏効した悪性中皮腫の１例.
日本産婦人科学会大分地方部会，大分市.
3. 佐藤香，那須真美子，橋本美保，井上京子，船瀬将一，大島敏信，山下勉，吉河康二.
(1999/9/25).
糞便からのクリプトスポリジウム検出の報告.
第３４回九州臨床検査学会，唐津市.
4. 吉河康二，松田貴雄，小川昌宣，浅野間和夫，近藤晴彦. (1999/10/3).
遺伝相談・我が国における問題点と当院における取り組み.
第６２回大分県医学会，大分市.
5. 片岡明美，定永倫明，上尾裕昭，白坂千秋，吉河康二，辻浩一，雷哲明，森正樹 .
(1999/10/12-14).
乳癌センチネルリンパ節への微少転移の検索と臨床的意義.
第３７回日本癌治療学会総会，岐阜市.
6. 山下勉, 那須真示, 河野俊郎, 木村茂, 松尾隆, 石松俊之, 室豊吉, 吉河康二. (1999/10/28).
免疫正常者に発症したクリプトスポリジウム症の１単発例.
DDW Japan，広島市.
7. 松田貴雄，吉河康二，小川昌宣. (1999/10/30).
２１水酸化酵素欠損症の出生前診断および治療について.
出生前診断研究会，久留米市.
8. 宇都宮徹，定永倫明，白石猛，渋田健二，佐藤浩一，井上裕，吉河康二，森正樹.
(1999/6/12).
無症候性肝炎症性偽腫瘍の１切除例.
大分県外科医会第１５４回例会，大分市.
9. 片岡明美，定永倫明，森大輔，吉河康二，森正樹. (1999/12/5).

乳癌の sentinel lymph node (SN)の微少転移診断と臨床的意義.
第３回生医研リトリート，福岡市.

10. 吉河康二，森大輔. (1999/12/5).
コンジローマ様癌におけるヒト乳頭腫ウイルスの分析.
第３回生医研リトリート，福岡市.

11. 宇都宮徹，定永倫明，白石猛，渋田健二，佐藤浩一，井上裕，吉河康二，森正樹 . (1999/12/18).
肝肉芽腫性多発性腫瘤を認めたブタ蛔虫内蔵幼虫移行症の１例.
大分県外科医会第１５５回例会，別府市.

12. 上岡陽亮，西田純一，堀内新司，寺尾泰久，加藤聖子，吉河康二，和気徳夫. (2000/1/14).
パクリタキセルが無効であったが塩酸イリノテカンが奏効した婦人科癌２例.
第９回大分県婦人科悪性腫瘍研究会，大分市.

13. 片岡明美，佐藤浩一，増野浩二郎，定永倫明，渋田健二，宇都宮徹，井上裕，森大輔，吉河康二，森正樹. (2000/3/11).
Solid-papillary caracinoma の１例.
第１５回大分乳癌のつどい，大分市.

14. 吉河康二，松田貴雄，小川昌宣 . (2000/3/25).
九大生医研（別府）における遺伝外来の活動と問題点（特別講演）.
第１６回日本臨床遺伝学会九州地方会，別府市.

15. 松田貴雄，小川昌宣，吉河康二，浅野間和夫，近藤晴彦，和気徳夫. (2000/3/25).
脊髄性筋萎縮症の妊娠前遺伝子診断.
第１６回日本臨床遺伝学会九州地方会，別府市.

16. 松坂浩史，板場壮一，本村廉明，牟田浩美，前田豊樹，千々岩芳春，末広陽子，西村純二，吉河康二. (2000/3/31).
放射線照射，回盲部切除後に巨赤芽球貧血を呈した１例.
日本消化器病学会九州地方会，鹿児島市.